

ふくろい 市議会 だより

静岡県袋井市議会



はるらんまん
春爛漫。 “桜も満開 笑顔も満開”

南保育所の桜が見頃と聞き早速現地へ。園庭で元気いっぱい遊ぶ子どもたちを相手に撮影開始。3月末の柔らかな日差しのもと、淡く美しい花を咲かせた桜と天真爛漫な子どもたちの笑顔とが、温かく穏やかな気持ちにさせてくれました。

No.10
2007.4.15
平成19年

平成19年度予算総額は551億3,290万円

3月定例会

平成19年3月定例会は、3月1日から22日までの22日間の会期で開催されました。今定例会では、市長から提出された平成19年度一般・特別・企業の各会計予算をはじめ、国民健康保険税条例の一部改正や公共施設（駐車場・駐輪場、B & G海洋センター）の指定管理者の指定など44議案と5件の報告、議員提出の市議会委員会条例の一部改正の1議案が上程され、採決の結果、いずれも原案どおり可決・同意しました。また、市政に対する一般質問は、15人の議員が市長の見解をただししました。

一般会計予算

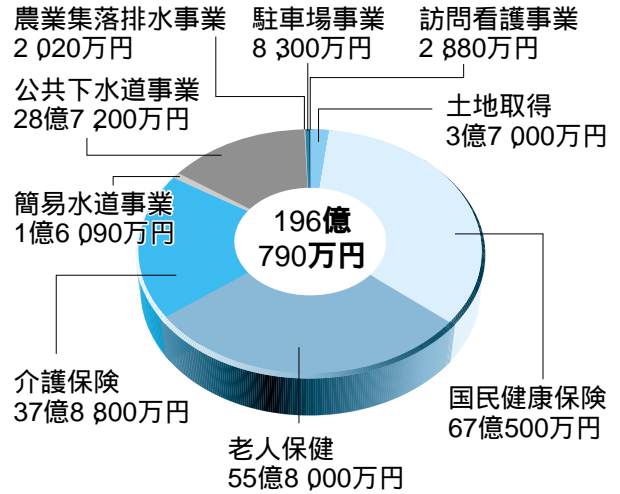
本年度の予算額は261億3,000万円で、前年度当初予算と比較すると4.7%増となっています。

主な新規事業

外国人生活情報窓口開設	(約379万円)
袋井南小学校校舎増築事業	(約904万円)
(仮称)山梨地区幼保園整備事業	(890万円)
新病院建設構想策定	(3,000万円)
新清掃センター付帯(余熱利用)施設関連事業	(1,900万円)
障害者地域生活支援事業	(約4,288万円)
病後児保育事業(施設型)	(420万円)
(仮称)市営墓地公園基本構想策定業務	(310万円)
田原田園土地区画整理事業	(1億7,200万円)
白雲荘耐震補強工事	(3,725万円)
B & G海洋センター指定管理	(4,800万円)

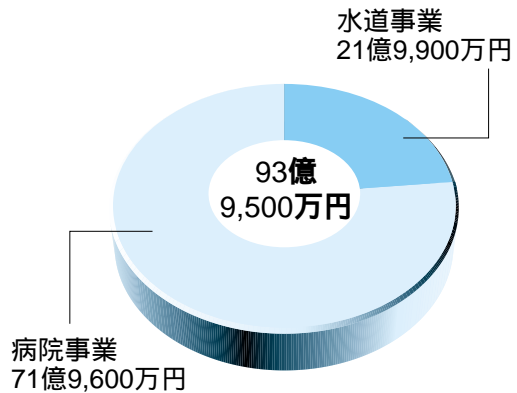
平成20年4月の供用開始を目指し建設が進む新清掃センター

特別会計予算



* 特別会計予算総額は196億790万円で、前年度と比較すると2.5%増となっています。

企業会計予算



* 企業会計予算総額は93億9,500万円で、前年度と比較すると16.0%減となっています。

条例

制定

袋井市及び磐田郡浅羽町の廃置分合に伴う地域審議会
の設置に関する協議により定められた事項を変更する
条例

地域審議会の庶務を担当する部署が市の組織機構の見直
しに伴い変更になることに関連して制定するものです。

改正 主なもの

特別職の職員で常勤のもの
の給料等に関する条例及び
教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正
特別職報酬等審議会の答申に基づき、市長、副市長、収
入役、教育長の退職手当の額を引き下げするため改正を行
うものです。

職員の給与に関する条例の一部改正

平成18年人事院勧告に基づき、平成19年4月から職員の
管理職手当の定額化と扶養手当の改正を行うものです。

予防接種健康被害調査委員会設置条例の一部改正

結核予防法の廃止と市の組織機構の見直しに伴い改正を
行うものです。

国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険税の介護分の賦課限度額を8万円から法定
の9万円に改正し、国保財政基盤の安定と公平な税負担を
図るものです。

簡易水道事業給水条例の一部改正

平成19年6月に笠原地区全域で簡易水道が統合されるこ
とに伴い、水道メーター使用料を基本料金の中に含めるな
どの改正を行うものです。

指定管理者の指定

各公共施設の管理は、次の指定管理者が行うことになりました。

市営駐車場・駐輪場	アママネジメントサービス㈱ (平成19年4月1日～22年3月31日)
市内のB&G海洋センター	㈱サンアムティ (平成19年4月1日～21年3月31日)

討論

(会派より)

一般会計予算に対して

「日本共産党」

反対する

今、「格差の広がり」とりわけ「貧困
の増大」が大きな社会問題となってい
る。そうした観点で見ると、全体とし
てはきわめて不十分。生活保護費や住宅等
耐震向上事業費等は大きく減額。教育振興
費は幼・小・中いずれも減額。農業振興も
国の言いなりで後退。突風災害被災者への
支援も不十分。また、今予算は旧態依然の
開発型予算。福祉や教育に予算を回すべき。
行革を進める職員の削減・組織体制の変更
も大いに懸念する。職員削減は、市民サー
ビスの低下をもたらしている。浅羽支所は
4課から2課になり、支所の役割を果たせ
なくなっていく。開発優先から市民本位の
市政への転換を求める。

賛成する

「自民クラブ」

本予算は、行政サービスの提供方法
など行政全体を見直し、定員管理及
び給与の適正化、物件費等の削減な
どに配慮し、行財政改革を一層推進したも
のである。道路整備など社会資本において
投資的経費が多くなるのは、道路等が地域
社会インフラの前提だからである。各種施
策の優先順位についての厳しい選択も行わ
れており、「総合計画」を着実に推進する
ものである。また、中長期的な視野に立ち、
将来にわたる健全な財政運営を保つ財政計
画策定への取り組み、あるいは、新たな行
政経営システムの構築への取り組みなど、
評価する。

佐藤省二議員

中東遠サミット開催を
目指しては

問 中東遠の中軸都市を標榜している袋井市が、「中東遠サミット」開催の労をとることが必要ではないか。

答 情報交換はもとより、病院、消防、観光などの広域連携への対応のためにも貴重な場づくりになるものと考えられる。関係の市町と協議するなど検討したい。



富士山静岡空港の完成予想図（平成21年3月開港予定）

特色ある観光の発信を

問 富士山静岡空港開港と志太榛原・中東遠地域として袋井市の特色ある観光を発信していくことが重要である。

答 独立行政法人国際観光振興機構が公募している外国人旅行者誘致用の「忘れられない特別な体験」に応募するなど、新たな観光商品を開発し、地域活性化や経済波及効果を図りたい。

山梨幼保園はいつ開園か

問 山梨幼保園の計画は、二つの省庁にまたがる事業で、開園まで時間がかかる。開園は平成何年であるか。

答 地元関係者への説明会、園地の選定、用地取得、建設に係る設計を行い、一刻も早い開園を目指す。

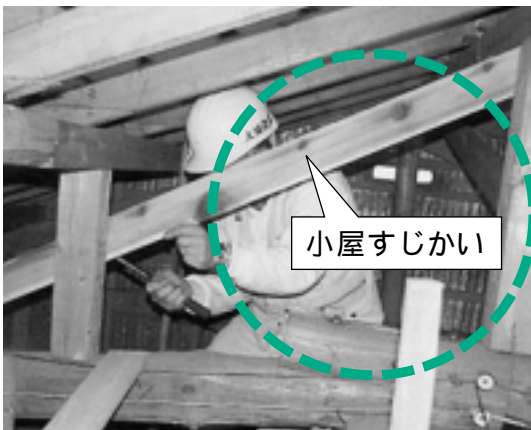
寺井紗知子議員

市民病院の医師確保は

問 市民病院を維持していくのに必要な医師確保についての見通しはどうか。

答 4月1日の常勤医師は、現状と同じ36名、5月1日には37名となる見込み。医師確保は、厳しい状況が続いているが、あらゆる手法を使い努力したい。

木造住宅の簡易補強も
補助しては



木造住宅耐震補強の一例

問 木造住宅の耐震補強は工事費用がかかり、実施件数が増えない。簡易補強へも補助する自治体がある。本市でも導入してはどうか。

答 県は、補強して耐震評点が1.0以上（倒壊しない）になるものを補助対象としており、本市も同様。現段階ではこれで進めるが、簡易補強補助の導入自治体の効果等も見守っていく。

墓地公園の
供用開始時期の目標は

問 市営墓地公園の早期供用開始に向けての目標年次はどうか。

答 19年度策定の市営墓地基本構想の中で、施設の概要や規模、候補地の選定等、市民の意向も踏まえ検討する。場所をどう決めていくかが、早く進められるかの最大の鍵だと思っている。

地方債の残高はどの位

問 平成18年度末、市全体で

地方債残高は利子分を含めどの位あるか。

答 平成18年度の借り入れは

未確定。平成17年度末の元金は512億4000万円。余。利子は85億500万円。総合計で597億4700万円（中遠広域を除く）。



「袋井桜（雛八丈）」の植樹活動

主要事業の見通しと年次計画はいかに

問 今後、財政の健全化に向

けて主要事業の見通しと年次計画を示すべきと思うか。

答 総合計画に位置づけられ

た主要事業は、向こう十年の財政計画と整合を図っている。今後税収動向等を注視しながら、毎年度ローリング方式により、事業を見直しながらやっていく。

「袋井桜」を桜の名所づくりに

問 「袋井桜」による桜の名所

づくりを推し進めてはどうか。

答 袋井という名称がついた

桜であることから、袋井市をPRする観光資源の一つととらえ、まずは公共施設など植栽可能な場所を検討していく。

知的障害者への支援は平等か

問 知的障害者（児）の入所

者と在宅者への支援が平等に行われているか。

答 障害者支援施設の入所者

からは、一割の利用者負担額とともに食費等の実費負担を徴収している。在宅の方については、介護者の負担軽減のため、ホームヘルプサービス等、居宅介護の提供や短期入所、通所施設



障害者の通所施設「あさば授産所」

の利用等により在宅福祉サービスの実現に努めている。

障害者手当の導入を

問 在宅で生活する障害者

（児）に市独自の障害者手当の導入の考えはないか。

答 今後、在宅福祉サービス

の充実や利用者負担額の軽減制度などを踏まえて総合的に研究したい。

「心の健康」の対策は

問 いじめや凶悪犯罪の発生

等は、心の健康がむしばまれているからではないか。その対策は。

答 地域社会に心の通い合う

豊かな人間関係をはぐくむため、心豊かな人づくりを目標に、人のため・社会のために役立つとする志を培う取り組みを進めている。

兼子春治議員

中国の都市との
姉妹都市提携の考えは

問 国際化が進む中で、成長著しいアジアの隣国である中国の都市と国際姉妹都市提携の考えはないか。

答 昨年の海外産業視察研修の際、浙江省人民対外協会から二つの都市を紹介され情報交換している。まずは交流促進を図り、市民の機運が盛り上がり上げればと考える。

国本地区のホテル建設へ
どう対応したか

問 国本地区へのホテル建設に対し、青少年の健全育成の立場からどのような対応策をとられたのか。

答 地域との協定書に沿ったホテル内容が西部保健所に確認。また、風俗営業の該当施設が警田警察署と協議した。現状は該当しないが、今後、関係法令等に抵触すれば厳正に対応したい。

道路のり面にムカデシバ
を導入しては

問 道路のり面の雑草対策にムカデシバが有効。草刈の省力化、環境面、景観面から取り入れる考えは。

答 盛り土した道路のり面にも適するのか、試験施行をし、効果等を検証したい。



海外産業視察研修（浙江省蕭山経済開発区にて）

秋田 稔議員

指定管理者導入の成果は

問 指定管理者移行後一年、運営面でどのような結果が出たか。

答 施設の管理運営を全面的に担う責任とあわせ、主体性を持った事業の企画立案がなされ、管理者の創意工夫が市民サービスの向上につながっている。今後も、積極的に制度導入をしたい。

「軽便鉄道」路線跡の整備

問 秋葉線・駿遠線の歴史継承のため、路線跡に記念碑または旧路線の観光整備を。

答 ウオーキングコースの整備の中で案内標識や旧駅名を表示する等、秋葉線・駿遠線の面影や歴史に触れられるよう整備をしたい。

団塊世代の生きがい対策は

問 団塊世代の定年退職者に第二の人生としての取り組み・政策を考えては。

答 県の「いきいきしずおか交流定住推進事業」がスタートする。今後、事業内容が示されるので、取り組み可能なメニューを活用し、農業活動を通じて団塊世代の方々の生きがいの場づくりや活動をサポートしたい。



駿遠線「芝駅」跡地

久野松義 議員

合併後の一体感と融和は

問 合併後一体感の醸成と融和の努力と成果は。

答 東海道どまん中ふくろい ツーデーウォークには、市内全域から多くの市民の皆さんが参加した。グリーンウエーブキャンペーンやふれあい夢市場、ふれあい海岸まつりには、旧袋井地域の皆さんも参加した。こうしたことが、一体感の醸成、



多くの市民が参加した東海道どまん中ツーデーウォーク

融和の促進につながっているとと思う。

市民の幸せのために

問 市民の幸せのために実施していきたいことは。

答 家庭、地域、学校における人づくりや徳育の推進。ウォーキングを通じた健康づくり。医療環境の整備などである。このまちに住んでよかった、ずっと住み続けたいというまちにしたい。

国本地区の開発と調和は

問 国本地区の開発と農業振興施策との調和は。

答 優良な農地との調和を保ちながらアミューズメント機能や産業振興・交流機能などを複合的に配置し、にぎわいのある魅力的な都市拠点となるよう進めたい。

広岡宥樹 議員

市民病院は掛川との統合が最善か

問 掛川市立総合病院との統合を、究極の市民安全の道・最善の道と考えるか。

答 今後の病院のあり方に関する検討委員会は、掛川市立総合病院との統合が望ましいとの提言。市議会市民病院問題特別委員会はこれを尊重するとの提言。いずれも十分な議論の上での結論と判断している。



袋井市民病院

問 方向を決める前にリアルな情報を提供し、判断材料を示して、市民的合意形成に努めるべきではないか。

答 市民への説明は必要不可欠と認識している。掛川市の動向を踏まえ、適切な時期に対応していくことが必要と考える。

同和对策事業補助金に関する覚書の協議結果は

問 今年度で期限が切れる「同和对策事業補助金等覚書」に基づく「協議」の結果はどうか。

答 固定資産税・都市計画税の減免、保育所入所児保育奨励補助金、水道料金納付奨励費補助金は本年度をもって廃止することとなった。その他の補助金も21年度ですべて終了となる。

高木清隆議員

市民が市政に参加するシステムを

問 市民が意見・要望を述べる場が確保され、市政に参加する恒久的な「くらし・まちづくり会議」の開催について。

答 地元住民の皆さんとともに地域の課題解決に向け継続的に意見等を交わす場を設けることは大変有意義なので、積極的に考えたい。

指定管理者制度は地域の経営改革のチャンスでは

問 指定管理者制度が、地域の経営資源を育て、活かす大きなチャンスととらえることについて。

答 この制度の活用が民需の拡大や地域の振興及び活性化につながるのと同時に、NPOなどの自立の一助にもなるものと認識している。

意欲ある事業者を集約させ支援しては

問 中心市街地において意欲ある事業者を集約させる店舗集団化、共同店舗整備事業への取り組みについて。

答 ご提案の店舗集団化、共同店舗整備事業への支援は、中心市街地活性化基本計画の策定を進める中での検討課題としたい。



地域住民の皆さんが参加したタウンミーティング

鈴木妙子議員

ユニバーサル社会の構築を

問 ユニバーサル社会の構築と福祉行政に対する見解は。

答 ユニバーサル社会への認識は高まってきたが、一部に心の壁が見られる。障害を持つ方と同様に、外国の方等に対してもバリアをとるとも大きな問題である。

市職員の接遇向上を

問 市職員の窓口サービス及び接遇向上の考えは。

答 あいさつ運動や接遇研修を初め、接遇リーダーによる職場巡回で接遇チェックを行う等、接遇マナーの向上に努めている。市民の皆様が満足していただけるサービスの提供に努めたい。

学校給食のアレルギ対策は

問 学校給食におけるアレルギー対応食等の導入についてどう考えているか。

答 毎日すべての子供一人一人に対応するアレルギー対応食等を提供することは極めて難しい。今後も引き続き、アレルギーの原因となる食物を誤って食べることがないよう努める。



市職員接遇研修の一環としての新茶サービス

寺井雄二議員

「地域交流プラザ」に親しみのある名称を

問 仮称「地域交流プラザ」の名称は、どのようにして決定されるのか。

答 広く市民の皆様からの公募により、平成19年度中には決定したい。

生活に密着した和口橋
河川改修による影響は

問 太田川にかかる和口橋は、



河川改修による影響が心配される「和口橋」

河川改修に伴い、どのようなになるのか。

答 県による太田川河口から二瀬橋までの河川改修が実施されている。本事業は、平成21年度に和口橋付近の施工が予想されるため、橋の管理者である磐田市では、現在の和口橋を落橋させず、そのまま残し、今の機能を確保するように要望している。本市としても、現在の橋の機能を残すよう、磐田市と協議をしたい。

水道料金改定には懇話会の設置が必要では

問 合併後の一市二制度の水
道料金の見直しは、どのよ
うにされるのか。

答 水道料金を一元化するた
めには、広く意見を求める
ことが大切である。今後、
懇話会を設置したい。

高橋美博議員

子育て支援上、市内医療
の現状をどうとらえるか

問 市外で大多数がお産せざるを得ない、深夜の小児救急も市外の病院に頼らざるを得ない事態をどうとらえているか。

答 市民病院で産科と小児科が、入院できる体制にないことを、大変申しわけなく思っている。深夜の小児救急は、近隣自治体病院と連携を図るなどしている。全



3歳児検診の様子

力で医師確保に努めたい。

小学校卒業まで乳幼児医療費の助成ができないか

問 乳幼児医療費助成の対象を小学校卒業まで拡充できないか。

答 乳幼児の医療費助成は、経済的負担軽減の効果的な施策のひとつ。対象年齢の引き上げも含め、いろいろな方法を検討したい。

無料の妊婦健康診査の
回数を増やせないか

問 現在2回の妊婦健康診査
公費負担の拡大はできない
か。

答 現在県でも、国の方針をもとに、各市町の意向と対応を取りまとめている。国や県の意向を見ながら、あ
るべき姿を検討したい。

浅田二郎議員

被害者の立場に立った支援こそ必要

問 突風による被害者支援は、「被害者生活再建支援法」等の適用のない規模であり、被災者の立場に立った市の支援こそ必要だが。

答 災害見舞金を初め、廃棄物処理手数料の減免、固定資産税や国民健康保険税の減免など、現行制度の中でできる限りの支援をしていく。



突風により大きな被害が出た諸井地区

都市計画税統一への検討はいかに

問 都市計画税は目的税であり、市の裁量・判断で決めること。その統一はどのようにつに検討していくのか。

答 平成19年度には都市計画税の課税方針を決定する。早い時期に都市計画税の統一に向けた庁内組織を立ち上げ、課税方針の検討を進めたい。

水道料金統一の原則は

問 水道料金の統一は、合併時の「負担は低く、サービスは高く」の原則に基づくべきと思うが。

答 財務状況を確認し、収支バランスを図り、健全な企業経営に努め、市民への負担が少なくて済む最善の方法を検討したい。

竹原和義議員

頑張る地方応援プログラムへの応募は

問 国の「頑張る地方応援プログラム」へ東海道五十三次どまん中通りの応募は。

答 袋井宿開設四百周年に向け、東海道どまん中まちづくり事業計画を策定する中で検討したい。

地域づくり総務大臣表彰への応募を



浅羽中学校校舎

問 「地域づくり総務大臣表彰」の地域振興部門等についでに応募は。

答 この表彰制度は、地域全体の活性化が目的であり、まずは、市民活動団体等へ広く情報提供していく。今後とも、それぞれの活動を支援する中で、表彰に該当するよう活動に育っていただくことが何よりと考える。

教育施設の建て替えは

問 「浅羽中学校校舎、浅羽北小学校体育館」の建て替え等の予定は。

答 浅羽中学校校舎は、耐震補強を行っており、当面は維持管理に十分配慮し、安全の確保に努めたい。浅羽北小学校屋内運動場は、来年度耐震補強計画を策定していく。

統一された情報伝達システムへの検討を

問 不審者情報や災害情報、イベント情報等を携帯メールで発信する統一されたシステムを検討してはどうか。

答 情報伝達の有力な手段と思う。保護者の方々や学校や保育所などと話をし、教育委員会や健康福祉部等で検討を進め、実用化に努力したい。

積極的な姉妹都市との交流を

問 姉妹都市ヒルスボロとの交流を積極的に行ってはどうか。

答 袋井国際交流協会が中心となり、活発な親善交流が行われている。今後も支援し、姉妹都市交流の持続発展を図る。平成20年度は提携20周年を迎えるので、記念的なイベントも考えたい。

消防署の新たな検討は

問 袋井警察署や病院、消防の広域化の計画が進む中、老朽化する消防署の新たな検討が必要と思うがどうか。

答 来年度県が消防の広域化計画を作成する。計画が明確になった段階で具体的な話に入っていけるものと考えている。



袋井消防署

市民病院問題特別委員会が提言書を提出

市民病院問題特別委員会は、平成18年6月議会での設置以来、9回の委員会開催をはじめ、外部講師を招いての講演会、先進地視察、研修などさまざまな角度から研究、調査を行ってきた。本年2月8日にはとりまとめの結果として提言書を議長に提出した。

「提言書」新市民病院についての記述部分(概要)

現市民病院の経営や診療体制に対する市民の不安は深刻の度を増しており、一刻の猶予も許されない。今後の病院のあり方に関する検討委員会からの提言、本特別委員会の提言を基に、なるべく早い時点で新しい市民病院建設構想を樹立しなければならない。

昨年10月に今後の病院のあり方に関する検討委員会から出された提言書は、医療分野のスペシャリスト等が中心となって慎重に審議されたものであり、尊重すべきであると考えます。

特に広域化については、中東遠地域における新病院の位置づけを明確にし、建設位置については、市民の利便性を損なうことがないように掛川市との十分な協議が必要。言うまでもなく、市民に新病院の建設構想について十分かつ丁寧に説明し、理解を求めていくことが重要。中東遠地域内の病院や他の医療機関とのさらなる連携にも十分配慮する必要がある。新病院建設にあたっては、精度の高い財政計画の基で対応し、組織体制も万全を期すことが求められる。



市内に4カ所ある地域包括支援センター
(写真は浅羽地域のセンター)

地域包括支援センターの運営に関する陳情書が提出されている。19年度の委託料は適切な金額であるのか。

18年度から地域包括支援センターの運営を市内の社会福祉法人に委託したが、委託料については、20年度までの3年スパンで勘案していきたいと考えている。厳しい金額ではあるが、包括的支援事業及び任意事業に充てることのできる金額は、18年度及び19年度が、介護保険給付費の1.5%以内、20年度については同2.0%以内とする枠が定められている。

にぎわい新都心プロジェクトは、同時進行できるものは予算をつけて並行して進めるなど、もっとペースアップできないか。

実務的には並行して進めている。法的に通していかないと前に進めないし、省庁間の協議も行っていかななくては相手は認めてくれない。旧農振法に基づく土地利用を図っているところを変えるのは一朝一夕にはいかない。ご理解いただきたい。

18年度に7,865万円あった国庫支出の簡易水道事業費補助金が0となっているが、補助事業がなくなったのか、それとも補助対象でなくなったのか。

国の補助制度の見直しにより、補助対象でなくなった。厚生労働省は「上水道に統合すべくにも関わらず統合しない・経営が良好・料金設定が不適切」といったケースでは、今後補助しない考えである。19年度は供給単価が事業採択基準に合わなくなり、補助金なしとなった。

4月から建築課で建築確認申請の事務を行うことになるが、袋井土木事務所に申請していた場合と比較して、許可までにかかる日数はどうなるのか。

現在、普通住宅の建築確認申請を土木事務所に出すと1週間近くかかる。市で対応した場合、問題のない申請ならば受付の翌日に交付できるようにしていきたい。



建築確認申請の窓口となる「建築課」

袋井B&G海洋センターの指定管理者の指定については、安心・安全という面が重要視されたとのことで、選定するにあたって十分調査されたのか。また、安心・安全の部分はどのようにとらえ、地域の貢献や経験への配慮は。

プールにおいては、安心・安全面での管理能力は非常に大切な能力である。選定申請書類が出された段階で、事細かく調査・分析しており、総合的に判断し結果が出された。また、今回の選定委員会の考え方として、公平公正を全面に出し、前回選定基準の審査項目であった地域の貢献は入れなかった。



指定管理者制度を導入した袋井B&G海洋センター

袋井市議会の会議録検索システムの利用状況はどうか。

平成18年9月1日から会議録検索システムを開始し、旧袋井市の平成15年3月定例会及び旧浅羽町の平成15年1月臨時会から見る事ができる。アクセス件数は9月が1,978件、2月までの合計は3,998件である。インターネットを経由して、発言者名や文書内容、また同義語検索など多彩な検索ができるシステムである。

「いじめホットライン・いじめホットメール」について、大変効果があると思うが、PRの方針は。

昨年12月11日の開設の際に、子ども達全員に電話番号等を知らせた。現在までの相談は35件。PRの仕方は、いろいろなところで話題としたり、広報紙へ掲載したりしている。

今回は、PTAの新聞でもPRしたが、お知らせカードの配付など、研究していかなければならないと考えている。

3億円をかけて整備する「デジタル移動通信システム」、事業の目的と内容は。

全市域を一元的にカバーする無線システムの構築が急務であったことに加え、現在使用しているアナログ式地域防災無線が、電波法の改正により、平成23年5月31日以降使用できなくなることから、デジタル移動通信システムの整備が必要となった。豊沢地内への基地局の整備や市役所内への統制局の整備、避難所などへの半固定局の設置及び携帯型無線機器の導入等を計画している。

19年度から小児生活習慣病予防対策事業を実施することとなった背景及び委託料105万円の内容は。

現在、市内の小学5年生及び中学2年生の全員を対象として、血液検査、血圧測定、身体測定を実施している。その結果が思わしくない児童・生徒に対しては、現在も、市の保健師や栄養士による指導を行っているが、19年度から予定している本事業では、さらに、検診結果の専門的な分析を大学等に委託し、指導方法の助言等をいただきながら指導にあたる。

5月臨時会、6月定例会のお知らせ

5月臨時会、6月定例会は次のとおり行う予定です。

場所 市役所5階議場または各委員会室
 時間 午前9時から
 (6月定例会の最終日については、午後1時30分
 からを予定しています。)

日程 5月臨時会
 5月17日(木) 常任委員改選等

6月定例会
 6月 5日(火) 開会、議案の説明
 11日(月) 市政に対する一般質問
 12日(火) 市政に対する一般質問
 13日(水) 市政に対する一般質問
 14日(木) 議案の審査(常任委員会)
 21日(木) 委員長報告～採決、閉会

あなたも議会を 傍聴してみませんか

当日、受付をしますので、市役所5階の議会事務局までお越しください。

議場のバリアフリー化を目指し、段差解消機及び車イス優先の傍聴スペースを設置しております。また、耳の不自由な方には、赤外線補聴システムを利用した補聴器を用意しております。

*足の不自由な方、妊婦の方なども段差解消機を利用し傍聴席へ入れます。

*段差解消機、赤外線補聴システムご利用の際には、議会事務局へ声をおかけください。

ライブ中継を 行っています

より開かれた市議会を目指し、定例会、臨時会の本会議ライブ中継を行っており、市議会ホームページでご覧いただけます。なお、市ホームページからインターネット中継ページへの移動方法は右のとおりです。



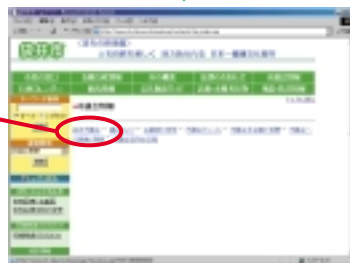
インターネット中継ページ

市議会本会議のインターネット中継



市議会情報

袋井市ホームページ
<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>



袋井市議会

袋井市議会情報ページ



袋井市議会トップページ

会議録が 検索できます

本会議の会議録が、キーワードなどを入力することにより、見たい箇所が簡単に検索できますので、ぜひご利用ください。なお、市ホームページから会議録検索ページへの移動方法は左のとおりです。



会議録検索ページ

市議会の本会議会議録の検索

編集 後記



3月市議会は、新しく策定した総合計画、道路整備10カ年計画等、将来のまちづくりのための各種計画を具現化する予算の審議を行い、活発な論議が行われました。広報委員会では、今回から一般質問の見出しを改善し、よりわかりやすい紙面となるよう努めました。